

遠野

市議会だより
2008.10.31

NO. 13



まこやが・さんぽ

白岩保育園

“白岩チビッコ農園”で採れた大きなサツマイモ!今年も地域の皆さんのご好意により、畑を借り春から種まきや苗を植え、毎日「大きくなったかな～」と園と畑を往復し、野菜の生育を見守り、そして収穫の喜び!自分達で育てた野菜を食べた時の子供達の実顔…食がもたらす宝物!!元気に大きくなあれ♪

(佐々木 昭子 園長)

主な内容 8月臨時会・9月定例会

- 平成19年度決算認定される
- 一般質問に7名が登壇
- 動き出す 遠野物語100周年記念事業

中学校再編原案示される

9月定例会

平成20年第5回定例会を9月12日から9月26日まで15日間開催しました。

今定例会では、提案された平成19年度決算関係9件、条例等の制定9件、平成20年度補正予算関係8件、人事案件2件の全議案28件を審議し、原案どおり認定・可決しました。

一般質問には7人の議員が登壇し質問しました。また、最終日には請願3件を採択、意見書6件を可決しました。

議案

- 平成19年度遠野市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 平成19年度遠野市国民健康保険特別会計・老人保健特別会計・介護保険特別会計・ケーブルテレビ事業特別会計・浄化槽事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成19年度遠野市水道事業会計決算の認定について
- 遠野市職員の公益法人等への派遣に関する条例及び遠野市職員の互助会に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市市有林造成基金条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市営バスの運行及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市農業委員会に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市土地開発公社定款の一部を改正する定款の制定について
- 財産の処分について
- 平成20年度遠野市一般会計補正予算(第3号)
- 平成20年度遠野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)、老人保健特別会計補正予算(第2号)、介護保険特別会計補正予算(第1号)、ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)、農業集落排水事業特別会計補正予算

(第1号)、下水道事業特別会計補正予算(第1号)

- 平成20年度遠野市水道事業会計補正予算(第1号)
- 教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて
- 固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて

討論

遠野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

〔反対〕 織笠 孝之 議員

本案では減給の具体的な根拠を示していない。又、不正操作によるデータの改ざん解明の為、職員が時間外勤務を自分から進んで行った場合でも時間外手当を支給すべきである。膨大な伝票チェックに対する時間外手当を適正に支給していないと判断されることは、人事管理上問題があることから、この条例に反対するものである。

〔賛成〕 萩野 茂男 議員

本案は市職員の会計処理の不正行為が発覚し、その責任上、市長及び副市長の給与の減額を表すものである。それにも増して不正当事者への告発を要求する意見や、減給の基準が不明確との意見等もあるが、市当局は事件の内容を詳細に調査をし、不正行為者本人も懲戒免職という社会人として最も重い社会的制裁を受け、不正額も全額返納されていることから本案は適正であると判断をし、賛成するものである。

8月臨時会

平成20年第4回臨時会が8月25日に開催され、下記議案を原案のとおり可決しました。

その中の平成20年度遠野市一般会計補正予算(第2号)では、災害復旧費3800万のほか、遠野市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について質疑が交わされました。

議案

- 遠野市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 平成20年度遠野市一般会計補正予算(第2号)

福祉灯油について



浅沼 幸雄 議員

【質問】 最近の異常ともいえる原油や諸資材価格の高騰により、農業各分野はかつてない窮地に立たされている。

稲作では来年度の経営について試算したところ 30ha の規模でも赤字となり酪農や和牛農家も飼料の高騰や資材・肥料・燃料の値上りそして子牛価格の下落等により全く先行きが見えず、野菜や花卉、

施設園芸農家も燃料や肥料・諸資材の値上りに悲鳴を上げている。

市として当面の緊急対策、中・長期的対策を早急に実施する必要があると考えるがどうか。

【市長】 国や県でも対策を打ち出しているが、市としても旧 JA 遠野から寄附があった堆肥センターを有効活用し、コストを低減しながら低額の堆肥を供給できないか検討中である。又、農業全般にわたる対応策については、JA 花巻とも協議しながら足並みをそろえて検討していく。

【質問】 戦後最長の景気拡大が地方に恩恵をもたらさないうちに縮小に入ったことにより、企業や商店・飲食店は、回復する前に今後予想される景気の冷え込みや物価の上昇による消費者の買い控え、経営経費の増加など、回復どころか更に疲弊するような要素ばかりで一向に明るい材料が見えてこないのが現状である。

市として中小企業への支援や商店・飲食店が少しでも潤う対策を早急に示すべきと考えるがどうか。

【市長】 市内中小企業に対する利子補給制度の補給率は県内でも高い。今後とも継続していく。「福祉灯油」については昨年同様の範囲と額で「お買物券」を交付する方向である。



▲かつてない窮地に立たされている畜産経営

農工商連携で地域活性化を



石橋 達八 議員

【質問】 他地域と同じものを生産し、販売するだけでは限界がある。新たな農産物の生産、開発のため農工商連携、産学官連携の更なる取り組みは必要ないか。

【市長】 これまで、JA よつば女性部の新商品開発、宮守わさびバイオ公社と岩手大学の協働での研究、そして地元産「山葡萄」のワイン開発等農

工商連携や、新たな農産品の開発を目指して取り組んできた。アストチャレンジ 100 でも重要な柱と位置づけている。

【質問】 市民所得や市民生活の向上に役立ち、遠野が元気になる独自の ICT (情報通信技術) の活用に取り組むべきだ。行政 8 分野の今後の取り組みは。

【市長】 遠野市では、地域情報化の基盤を遠野テレビのネットワークを活用し推進している。地方都市でありながら都市部と情報格差のない環境を提供している。行政 8 分野が文字通りネットワークとなり、知恵を出し合い、関係機関や市民も含めた相互連携と協働の中から、社会的経費の削減や行政サービスの向上を可能にする独自の施策に意を用いていく。

【質問】 学校給食のアレルギー対策、地産地消向上のための仕組みを示せ。

【教育長】 アレルギー対応は、事前に保護者からの申し出を受けて対応している。その他、保護者からの申し出のない児童が 30 名ほどいる。今後の対応としては、総合食育センターの整備と併せて、対応方法など、関係者と協議を重ねながら検討していく。学校給食で使用する食材の地産地消は、農業振興の面からも食の安全・安心という面からも非常に重要なことと考えている。遠野産野菜の冬場の供給体制にも課題はあるが、今後においても農業担当部署や農産物の直売所、生産者と連携をして地産地消率の向上に努める。



▲地域情報化の基盤である遠野テレビ

非核都市宣言の実効ある運営について



小松 大成 議員

遠野市の防災対策について

【質問】岩手宮城内陸地震に引き続き発生した岩手県沿岸北部を震源とする地震発生は、改めて防災対策の重要性を指摘している。学校をはじめとする公共施設の耐震化は充分か。

【市長】「建築物の耐震化促進に関する法律」が改正され施行された。建坪面積 2,000

m²以上三階建て以上の耐震化が義務づけられた。市民の多く集まる場所の耐震化を検討し、計画的に行う必要がある。

県立遠野病院ベッド数削減計画に反対を

【質問】県医療局は病床利用率の低い県立病院のベッド数を削減しようとしており、県立遠野病院もその対象となっている。地域医療切捨てにつながりかねないこの計画に疑問を抱かざるをえないが、市長の見解は。

【市長】県立遠野病院の病床利用率が 63.3% であることから削減対象となっているようだが、常勤医の確保によって利用率は高められる。院長をはじめ全スタッフが医師確保に努力している。今後新たな展開を期待している。

中学校再編計画は白紙撤回を

【質問】中学校再編計画(原案)が公表されたが、再編計画案は再編により廃校を余儀なくされる地域住民の意向を充分くみ上げられて作成されたとは言いがたい。白紙撤回をふくめ再検討を求める。

【教育長】地域のたからである中学生が、大きく成長できるよりよい教育環境を整えるための中学校再編計画である事を今後とも説明し理解を求めていく。



▲市民医療の拠点である県立遠野病院

中心市街地活性化基本計画について



荒川 栄悦 議員

【質問】街中の賑わいを取り戻すための方策である中心市街地活性化基本計画の認定をいつ受ける予定なのか。またその実効性をいかにして挙げようとするのか。

【市長】「遠野市中心市街地活性化基本計画」は人口減少、少子高齢化、財政逼迫の中で、市民が誇れる街づくりのため、中心市街地をコミュニ

ティと経済の両面から活性化を図る計画として本年 3 月に策定し、内閣府との協議の中で、本年 12 月の申請受理、来年 3 月認定を目指している。また、これまでのまちづくりに取組む意識の醸成を図るため、(仮称)「まちづくりシンポジウム」を開催する予定である。

【質問】駅周辺整備と、観光戦略樹立の中身は。

【市長】遠野駅周辺を情報発信エリア、居住エリアと位置づけ、整備を図る計画である。本年度中に材木町に子育て支援型、高齢者対応型の市営住宅 12 戸の整備に着手し、街中居住の推進と新たな人の流れをつくるものである。駅前に整備予定の観光交流センターは、観光振興を図るための中核となる施設であり、観光関連機関・団体の集中化により、情報発信、エージェント等への営業などの対応が、より効率的に連携できる体制を確立するものである。

【質問】市内 3 校とする中学校再編成計画原案の説明会による説明をもって市民から理解を得たとするのか。

【教育長】現在、計画原案を提示して、市民の皆様から意見を戴いた段階であり、市民の理解と合意を得た・得ないを判断する時期ではないと考える。合意形成の判断は、住民投票やアンケートの意見もあったが、あくまでも議論を積み重ねることによる話し合いの中から判断していきたいと考えている。



▲有効活用が期待される旧 JA ビル

行 財政の健全化について



菊池 邦夫 議員

【質問】 地方財政健全化法に基づく市の財政状況について、評価をどのように受けとめているか。

〔市長〕 19年度決算に基づく遠野市の指標は、実質赤字比率は黒字であることから健全経営の範囲内である。将来負担比率は125.2%と早期健全化基準を大きく下回っており、健全経営といえる。

実質公債費比率は18%と早期健全化基準以下ではあるが、依然として起債許可団体である。が、さらなる行財政改革による財政健全化を図っていく。

【質問】 元気のある明るい職場環境について、市長はどのような心構えで職員を育成、職場づくりを進めているか。

〔市長〕 目指す職員像として、市民と協働する職員、経営感覚を持つ職員、新たな課題に挑戦する職員等を育成するため、職員研修の充実と管理職の意識改革とリーダーシップの発揮が重要である。

【質問】 総合防災センターと後方支援拠点施設構想について、想定される施設整備の概要等はどのようなものか。

〔市長〕 予想される地震災害や津波による被災に対し、速やかに対応できる後方支援施設を国の施設として事業に取り組んでもらうよう提案活動を行っている。遠野運動公園は臨時ヘリポート、野营地、駐車場として活用、市民サッカー場及び早瀬川緑地も臨時ヘリポートとして活用、全体の規模は自衛隊員約5,000名、車両約500台、航空機約50基を予定している。



▲壮大な総合防災センター構想

中 学校再編成計画について



瀧澤 征幸 議員

【質問】 中学校再編計画原案は多様な意見を吸い上げ市民のコンセンサスを得て成案し計画実行すべきと考える。

また、学校と地域との繋がりを大切にし、ふるさと学習としての郷土芸能などを大切にすべきと考える。再編の重点課題と再編への基本姿勢・決意について伺う。

〔教育長〕 本市には、昭和46

年からスタートした市民センター構想によって、地域づくりに一体的に取り組む活動拠点として「地区センター」が各町に整備され、他自治体に先駆けた「地域づくり」という誇るべき財産があり、郷土芸能をはじめとし、これまで続けてきた地域と学校のつながりは大きいものがあると思っている。中学校と地域の郷土芸能への取り組みを再編成後も継承するためには、例えば、発表会の近い時期は、練習体制が組みやすいように学校の日程の便宜を配慮するなどの学校側からの地域連携や、地域から出向いての地域側からの学校連携により解決する手立てが考えられ、遠野市民は勿論、地域はその力を備えていると信じている。

再編成の重点としては、免許外指導教科が発生しない学校規模を目指しており、再編後であっても、学級数から教員配置が10人前後になる時期がでてくる学校があることから、免許外指導教科が発生することも想定されるので、県からの教員配置がない場合には、市単独でも教員を確保して免許外指導の解消に努める。

計画の成案に向けては、市民、地域の方々に理解をいただけるまで、粘り強く話し合いを積み重ねていく所存である。

私の成案に向けての基本姿勢と中学校再編成に向けた決意については、基本姿勢は「対話」で、決意は「実現」であり、対話と実現に全力で取り組む所存である。



▲上郷小・中学校のジョイント学習(しし踊り)

有機農業への取り組みは



織笠 孝之 議員

【質問】「食の問題」に注目が集まる中、安心・安全な農業を営む後継者の育成と地域間競争・国際競争に打ち勝つ農業振興の今後の見通しは。

【市長】飼料、肥料、生産資材の高騰、和牛市場の低迷等が続き、厳しい状況だがいかに生産コストを下げるかが課題だと思う。農業所得向上に向けた具体的な取り組み等

を行っている。

【質問】農産物のブランド化によって収益向上、販路拡大を図る取り組みの仕組みづくりが成功すれば、商品の販売価格の安定が実現し、地域の発展と活性化に繋がると思うがいかがか。

【市長】消費者の中には、こだわりを持った農産物への要望が増えていくことが予想される中で、しっかり対応する体制づくりは重要なことと認識している。有機農業等のこだわり栽培の支援については、アストの計画にも入れながら進める。良質な堆肥の生産については、堆肥センターの活用も一方策と考える。ブランド化は短期間では難しく、実績を積み重ねながら評価を受けて初めて確立されると考えられる。安定供給体制が必要なので農家の方々と合意形成を図りながら取り組んでいきたい。

【質問】学校給食の食物アレルギーを有する児童生徒数は、小学生78人、中学生34人と報告されているが、主な原因は食品では魚類・鶏卵・そば等のアレルギーが大半を占めているが、学校給食の対応をどう考えているか。

【教育長】平成20年2月に市内児童生徒数2,441人を対象に学校を通じてアレルギー調査を実施した。アレルギーを有する児童数は合計112人である。今後は総合食育センターの整備と併せて対応方法など関係者と協議を重ねると共に、学校と保護者の連携を図っていく。



▲学校給食をおいしそうに味わう子供たち

決算特別委員会 9月18日～22日

決算特別委員会（議長を除く21人の議員で構成、委員長菊池民彌議員、副委員長浅沼幸雄議員）は、決算9件の議案について付託を受けて3日間の審議を行いました。

今定例会では、特にも市税等収納対策、地域づくり振興費、後期高齢者医療制度、若者定住事業等に質疑が集中しました。

審議の結果、一般会計ほか8会計を賛成全員でもって認定いたしました。

収納プロジェクト 対応について

【質問】市税の滞納者に対する収納プロジェクトの対応はどのようなか。また、滞納者の固定化という状況の納税者の悩みを聞くべきではないのか。

【答弁】プロジェクトは全庁体制で取り組み、職員150～180名らが個別訪問するものだったが、今まで5年間活動を展開してきた。その結果、一定の効果も上げた。しかし、そのうちに単なる催告書を届けるだけではないのかという反省もあり、検証が必要と思い当面は各税目ごとの収納活動を図ることにした。このプロジェクトの目的は、職員が戸別訪問をし、市民と接することにより滞納者の実態を把握し、その背景を分析し行動すべきものだった。更に職員の教育、研修の意味もあった。

冬のぬくもり支援 事業の成果は

【質問】昨冬実施した冬のぬくもり応援事業（福祉灯油）の成果は。

【答弁】対象1,969世帯全てに通知したが、申請は1,771世帯（89.9%）であった。

【質問】申請がなかった198世帯への対応は。

【答弁】再度通知したが173世帯から応答がなかったため、健康福祉の里職員総力戦により、電話で連絡を取ったり、或いは地元の民生委員の方々などから情報を得、交通手段がない方々には最寄の職員や民生委員の方々の方が足を運んで対応した。また、冬期間ご子息の所で暮らす方や長期入院の方、そして本人の意思により辞退された方もあった。

子供たちの学習意欲をどう引き出すか

来内不燃物に掛かる 河川水質調査について

【質問】 来内不燃物埋立地に冷蔵庫などすべて埋立ててきたが心配である。本格的に専門家で調査する必要があると思うが。

【答弁】 来内の不燃物埋立地を廃止する事で、重金属類等とガスを2年間調査する目的で水質調査を継続して行っている。昨年度の水質調査では、重金属類の鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀の値も基準値以下とデータが出ている。地下水質も1ヶ所調査している。

【質問】 問題は、ボーリングをして調べたか、色々な対策があるが。

【答弁】 ボーリング調査も平成16～18年度実施し、ガスと温度も計測している。

土地改良区合併の 進度は

【質問】 土地改良区への補助金440万の内容は。

【答弁】 遠野へ255万円、宮守へ185万円となっている。

【質問】 前に改良区の合併に関し質問した際、予定よりも前倒しで進める旨の答弁があった。補助金も合併した方が、より効果的と思うが進展具合はどうか。

【答弁】 地域差等の課題もあり、調整が順調に進んでいるという状況にはない。

【質問】 新市が誕生する際にも幾多の課題や弊害を克服しての実現となった。農家にとって経営の基盤となる農地や施設を改良し管理

する改良区の一日も早い合併を望む。

【答弁】 関係者や上部機関とも連携を取りながら強力に進めたい。

育種組合の加入と その評価は

【質問】 遠野には黒毛繁殖牛が3千頭いると思うが子牛の市場上場牛が2,100頭位と県内で断トツに多い。市内で生産された育種牛の評価は。

【答弁】 育種牛から生産された子牛の価値が高い程効果があるが、育種牛は繁殖農家が安定して価格が取れるような血統や体系を評価し決定している。

【質問】 遠野市も生産者も負担金を出している。活用はどうなっているのか。

【答弁】 良質な種雄牛を出し、その種の子牛を生産し現場検定、間接検定を行う事業等に負担している。

【質問】 育種母牛の候補審査をし、認定牛には指定種雄牛の種を付ける助成として5万円を交付され、それより生まれた子牛を自家保留すれば更に5万円交付される。この事業を通じて、より良い生産活動ができるが、育種組合の今後は。

【答弁】 育種組合の前身は改良組合であり、数値化して安定した畜産農家の生産につなげることになる。市と農家の負担金を合わせながら活動をしていきたい。

学力向上の方策は

【質問】 全国学力調査の結果が発表され岩手県の学力が芳しくないとのことであった。その対策として家庭学習の充実等、学習時間の確保が叫ばれているが、その前に大切なのは子供達のヤル気ではないのかと思うがどうか。

【答弁】 学力は、この方法をすれば向上するという一面的なものだけではなく、家庭学習も大切であるし、同じ授業でも子供達が、より分かるような授業改善も進めている。また、子供達にいかんが学習の必要性を感じてもらい、意欲をもって学習に取り組むかについても、日々研究し努力をして学力の向上につなげている。

施設待機者への今後の 対応策について

【質問】 介護認定者の今後と、次期介護保険事業の見通しはどうなっているのか。

【答弁】 これからも増えていくものと想定している。平成21年度から3年間の第4期介護保険事業計画を策定中であり、来年度からは旧遠野市と旧宮守村の介護保険料が統一されることになっている。

【質問】 旧遠野市の場合、居宅サービスを重点に事業を進めてきたが、現実には介護施設等への待機者がかなりある。今後の対応は。

【答弁】 特別養護老人ホームの待機者はこの3月末で189人と把握している。市外の待機者も含めると230人くらいとなる。第4期の計画の中で居宅サービスの在り方を検討するが、介護保険制度にとらわれない新たな仕組みづくりが必要だろう。



予算等審査特別委員会 9月24日~25日

予算等審査特別委員会（議長を除く 21 人の議員で構成、委員長佐々木譲議員、副委員長照井文雄議員）は、条例 7 件、予算 8 件、その他 2 件の 17 議案について付託を受けて 2 日間の審議を行いました。

今定例会では、今年度初めての補正予算が示され、今後の施策全般にわたり活発な質疑がなされました。その結果、全 17 議案が原案のとおり可決されました。

職員のメンタルヘルスについて

【質問】 県内の小中高の教職員の精神疾患が 10 年間で 3 倍となっている。市の職員の状況はどうか。

【答弁】 今はメンタル面での休暇を取っている職員はいない。

【質問】 職員の不祥事や不幸にして亡くなった職員がいる。職場でのストレス等、どう捉えているか。

【答弁】 200 人の研修を計画している。心と体のバランスを保ちメンタルヘルスについての研修も行う。

【質問】 福利厚生を大切にしながら職場の環境見直しを図るべきと思うが。

【答弁】 福利厚生を大切に、共同で仕事をやることなどで環境を整えていく。

【質問】 報告・連絡・相談が職員間で大事と思うが。

【答弁】 課題についてお互い議論したり対面対話を重視していく。

遠野物語100周年記念準備事業費について

【質問】 事業費が 320 万にアップしたが事業の内容は。

【答弁】 ホームページを立ち上げる制作委託費が 100 万円、市の封筒に 100 周年を迎える印刷や記念切手も制作したい。新たに「英訳・遠野物語」著者ロナル

ド・モース氏の講演会なども企画している。

【質問】 遠野の名を全国に一時的でなく長く観光に寄与するべく取り組んでほしいが。

【答弁】 100 周年を契機として、新たなまちづくりを展開できるような取り組みにしていきたい。

【質問】 創設者の柳田家の了解はどうか。

【答弁】 遠野物語の著作権を有しているのが、東京在住の柳田家である。説明し、ご理解ご協力を頂かなければならない。柳田家には統括の場で参加していただいている。

AEDの今後の活用等について

【質問】 AED（自動体外式除細動器）の配置はどうか。

【答弁】 先に 7 施設に AED 配備をしようとするものに加えて 10 の小学校に新たに配備しようとするものがある。

【質問】 心肺蘇生法及び AED 活用法についての学校教職員の受講者数は。

【答弁】 平成 19 年度は、小学校はないが、中学校では 25 名で、高校は 0 人である。平成 20 年度は、小学校では上郷小学校の職員 8 名、中学校については 28 名、高校は 0 人である。

職員の職改

平成28年度国民体育大会の開催について

【質問】 平成 28 年度岩手国体の決定を受けて遠野市における競技誘致の進捗状況と具体的な計画はどうなっているか。

【答弁】 会場の誘致については、市体育協会と連携し、協議をして合意形成を図りながら進める。更に協会と検討会を持ち、アンケートを取り、まずはサッカー競技の会場誘致を考えた。そこで内部でも、教育長をチーフとして検討会を持ち、歴史的背景、功績、実績を考慮、さらに最近の遠野高校の活躍をみてサッカーとした。あくまでも会場誘致希望で、平成 22 年の決定に向けて県に対して運動していく。施設では芝のコート 7 面が必要で、宿泊者は 1,100 名からの受け皿も必要である。遠野市単独では無理なので、近隣市町との連携協力も必要だ。

各分団に無線機配備を

【質問】 あまりにも教職員の受講者数が低い。早急な対応策を検討すべきでは。

【答弁】 学校現場としてはこれで十分ではなく、関係課と連携を取りながら受講について前向きに取り組んで参りたい。

【質問】 防災訓練が行われたが、いざとなれば電話での通信が利用できない場合がある。その際、消防団として当然無線を最大限に利用することになる。現在、分団指揮本部には無線が搭載されている移動無線を使用することになり、不便をきたすが、早めに分団本部にも無線の設置が出来ないか。

【答弁】 現在搭載も含め 70 台の無線がある。普段はそれで十分だが、全市に被害が及ぶ場合は、無線統制も必要である。車載の移動無線を使用してほしい。

【質問】 災害がいつ来ても不思議ではないと言われている。一台 30 万円の携帯無線を各分団に整備すべきであると思うが。

【答弁】 無線は有効な手段であり情報通信計画ではアマチュア無線局に協力を求める。

職場環境 改善を

議案第78号条例の 制定について

【質問】特別職の給与改正の根拠は何か。副市長の3ヶ月減給の根拠は。

【答弁】今回の改正はケースバイケースで決定をした。副市長は当時収入役であり、管理者の立場から10%・3ヶ月の減給とした。

【質問】市に多大な迷惑を掛けた点での市の負担額はどのくらいなのか。時間外手当は支給しているのか。

【答弁】市の負担額は調査

していない。時間外手当は予算内で支給しているが、職責と使命感での勤務であった。予算外の時間外手当は支給していない。

【質問】不正防止の為、今後導入予定の会計システムは市民の負担に繋がるが、不正操作当事者に対して刑事告発は。

【答弁】告発しないと言う事ではなく内部議論の結果、実名を公表し社会的制裁を受けている事等を鑑みて刑事告発をしない。

常任委員会等の活動

- 産業建設常任委員会（8月5日開催）
 - ・産業振興課の主要事業及び企業立地について
 - ・遠野市農業活性化本部（アスト）の取組みについて
- 教育民生常任委員会（8月7日開催）
 - ・第4次老人福祉計画及び第4期介護保険事業計画の策定について
 - ・高齢者・障がい者等見守り体制の構築について
 - ・遠野市社会福祉協議会平成19年度決算状況及び地域福祉活動計画について
- 総務常任委員会（9月4日開催）
 - ・地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく当市の財政健全化判断比率について

教育民生常任委員会行政視察報告

7月22（火）～23（水）の2日間で、2箇所の行政視察を行った。1日目は、遠野市においても平成26年度から広域的なゴミ処理をする予定になっていることに関わって山形県新庄市の「食品トレーリサイクル」の現状を視察した。この心身障がい者小規模作業所では、家庭ゴミの減量化、資源回収の取り組みがなされている。現在ほとんどが焼却処理されている使用済み食品トレーを再生してリサイクルをする仕組みであり、トレー自体は非常に軽いものだが、トレーの数が半端でなく、作業所内が使用済みトレーの山となっており、これには非常に驚かされた。これは㈱ヨコタ東北という事業者が開発したペレットの製造や、リサイクルをする機械により可能となった事業であった。

2日目は、昨今当市でも議論が激化している中学校再編に関わって福島県郡山市湖南小中学校を視察した。ここでは5つの小学校を統合し、中学校と一体的に整備すると共に「小中一貫教育」が全国的に先駆けて実践されている。「日本一の学校を創りたい」をコンセプトに建設された学校である。

統合までに至る苦労話や、地域のエゴとの戦い、教職員の教育、教育構想などの説明を受けた。しかし建設がいったん決まれば地域の協力や木材の提供、送迎バスへのボランティアなど、地区民の学校教育に参画するすばらしい姿勢が生まれたという。

「湖南小中学校」の教育目標は「ともに生き 未来を創るたくましい湖南の子」であり小中9年間を一貫させたすばらしい教育活動を実践していた。

（照井 文雄 副委員長）



▲食品トレーリサイクルの作業現場を熱心に視察

請願審査報告

今定例会には3件の請願が提出されました。
各委員会における審査及び本会議における議決結果は以下のとおりでした。

■タクシー事業の規制緩和の見直しを求める請願(継続審査)

〔請願者 岩手県タクシー協会釜石支部長 根本 知司 外2名〕
《審議結果 採択》

■介護職員の待遇改善についての請願

〔請願者 岩手県介護老人保健施設協会長 木川田 典彌〕
《審議結果 採択》

■原油高騰への緊急対策についての請願

〔請願者 岩手県生活協同組合連合会長理事 加藤 善正 外11名〕
《審議結果 採択》

■高齢者の命と健康を守るため後期高齢者医療制度の撤回を求める請願

〔請願者 岩手県保険医協会会長 箱石 勝見〕
《審議結果 不採択》

議員発議案

今定例会には、6件の発議案が提出され、原案のとおり可決しました。可決した意見書は以下のとおり。

■新たな過疎穂対策法制定に関する意見書

■介護職員の待遇改善についての意見書

■タクシー事業の規制緩和の見直しを求める意見書

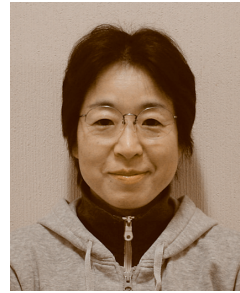
■原油高騰への緊急対策についての意見書

■社会保障関係費2,200億円削減方針の撤回を求める意見書

■生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書

意見書の送付

今定例会で可決した意見書6件は、平成20年9月26日付け、遠野市議会名で内閣総理大臣、衆議院議長・参議院議長・総務・財務・農林水産・国土交通・厚生労働・経済産業・経済財政政策担当の各大臣あてに送付しました。



わたしの ひとこと

遠野らしさは 地域の活動の中に

佐々木 百美子さん(青笹町)

高校生の頃、あんべさんの「遠野物語」の曲に惹かれて遠野を訪れ、自転車で福泉寺などを廻りました。その中で何より印象に残っているのは、自転車で転んで困っている私を見て、救急箱片手に駆けつけてくれたおぼさんの事です。帰りの列車の中で、歌のように心優しい人のいる街だったと感激したのを覚えています。縁あって遠野に嫁いで15年。最近地域の活動を少し手伝わせて頂いていますが、地区センターを拠点に各種団体の活動が実に活発に行われている市だと感じます。人と人とのつながりが強い街です。活動の中で、あの時私たちを助けてくれたおぼさんのように素敵な方とたくさん出会います。地域のために、誰かのためにと人のつながりを大切にしてきた優しさが旅人の心に沁みるのです。「日本のふるさと」というなら、その『人の心』こそが遠野の財産だと思います。

12月定例会の予定

◆定例会は12月5日(金)開会の予定です。

詳しくは議会事務局まで。

○議会へのご意見、ご要望をお待ちしております。

議会事務局 62-2111(内線271)

gikai@city.tono.iwate.jp

編集後記

実りの秋、栗や茸の山の恵みと里では黄金の穂波が収穫を終えた。今年は各地で集中豪雨が多発、幸いにも遠野は被害が軽少、台風に至っては一度も本県に上陸していない。これも異常気象か。でも実りには好影響が期待できるのではないか。そんな中、政府の運用方針で、口座振替への変更も可能になったが、10月の年金から長寿医療制度での4回目となる保険料が天引きされた。少子高齢化の中、遠野市では在宅医療など、医療の充実力を入れているが、施設入所希望者も少なくなく待機状態が200名前後とも聞かれ、施設の拡充も望まれる。一方で年齢に関係なく若年層でも病気で倒れるケースもあり、多様な日々の中で健康に気を配りつつ生活習慣病をチェックし、各種検診を積極的に受診し、健康づくり活動を取り入れ、活力ある住みよいまちづくりに市民ひとりが自覚してほしい。
(菊池 巳喜男 議員)